

NIPPON KAYAKU BUSINESS STYLE 日本化薬株式会社 会社案内

トップメッセージ 🕏

企業ビジョン

日本化薬は、1916年の創立以来100年を越えて 基盤となる「火薬」「染料」「医薬」「樹脂」の保有技術を駆使し、 これらを融合・変化させながら、時代のニーズに応える製品をつくってまいりました。

私たちは、企業ビジョンであるKAYAKU spirit
「最良の製品を不断の進歩と良心の結合により社会に提供し続ける」の実現に向け
サステナブル経営を推進することで、すべてのステークホルダーの信頼に応えるとともに
モビリティ&イメージング事業領域、ファインケミカルズ事業領域、
ライフサイエンス事業領域の3事業領域を通じて、
持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

これからも社員全員がひとつになって、 世界的すきま発想。で、新しいことにチャレンジしてまいります。

未来を豊かに、もっと楽しく。

これからも日本化薬グループにどうぞご期待ください。



KAYAKU spirit

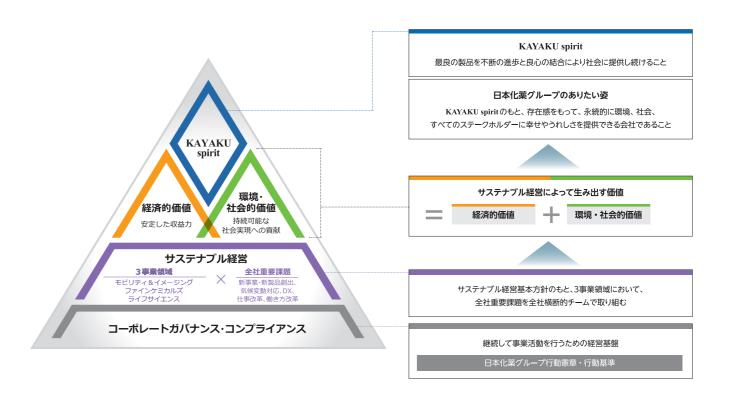
最良の製品を不断の進歩と良心の結合により 社会に提供し続けること

KAYAKU spirit は、全役員・全従業員が共通にもつ、 私たちの「あるべき姿」(=企業ビジョン)です。

サステナブル経営基本方針

私たち日本化薬グループは、

企業ビジョンである KAYAKU spirit のもと、経営の透明性・公正性を確保し、 事業活動を通じて持続可能な環境・社会の実現に貢献することで、 すべてのステークホルダーの信頼に応えるサステナブル経営を実践します。



ターゲット分野と事業領域・製品

日本化薬グループは3事業領域を将来性のあるマーケット領域と定め、ニッチ市場の グローバルNo.1を目指し、「世界的すきま発想。」で事業を展開しています。





ターゲット

₩ モビリティ

エレクトロニクス

ライフサイエンス



📢 環境エネルギー

事業領域と テクノロジー統括 モビリティ&イメージング 事業領域

ファインケミカルズ 事業領域

ライフサイエンス 事業領域

環境エネルギー領域へ テクノロジー統括

研究企画・知的財産・品質保証・安全・環境・生産技術

セイフティシステムズ事業

- -インフレータ
- -マイクロガスジェネレータ
- -スクイブ
- -産業用ドローン向け緊急パラシュートシステム









- -ヘッドアップディスプレイ用部材
- -液晶ディスプレイ用部材
- -サングラス用部材
- -X線分析装置用部材



機能性材料事業

- -エポキシ樹脂
- -マレイミド樹脂
- -エポキシ樹脂用硬化剤
- -反応性難燃樹脂
- -アクリル酸エステル
- -レジスト用紫外線硬化型樹脂
- -MEMS用レジスト
- -LCD・半導体用クリーナー
- -液晶ディスプレイ用シール剤
- -半導体製造装置





- -アクリル酸製造用触媒 -アクロレイン製造用触媒
- -メタクリル酸製造用触媒

色素材料事業

- -インクジェットプリンタ用色素
- -インクジェット捺染用染料
- -産業用インクジェットインク
- -イメージセンサー用材料
- -調光ガラス用二色性色素
- -近赤外線吸収剤
- -繊維用及び紙用染料
- -樹脂用着色剤
- -感熱顕色剤
- -顔料誘導体









医薬事業

- -抗がん薬
- -がん関連薬剤
- -バイオ後続品
- -循環器用薬剤 -医療機器
- -医薬品原薬
- -医薬中間体
- -体外診断用医薬品





アグロ事業

-土壌くん蒸剤

-防疫用殺虫剤

-動物忌避剤

-殺虫剤



モビリティ&イメージング事業領域

セイフティシステムズ事業およびポラテクノ事業を展開しています。 変化するモビリティテクノロジーに対応した製品で 世界中の人々に安全を提供し、社会に貢献していきます。

■セイフティシステムズ事業

セイフティシステムズ事業は、長年培ってきた火薬の技術を応用して自動車安全部品を研究開発・製造した製品 をグローバルに提供しています。

● エアバッグ用インフレータ

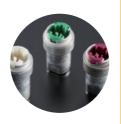
今や自動車安全装置として欠かせないエアバッグ。これを瞬時に膨らませる役割を果たしているのがインフレータです。金属製容器の中には当社が長年培ってきた火薬技術を応用したガス発生剤が装填されており、車両衝突時には1/1000秒単位でエアバッグの展開速度をコントロールします。



● シートベルトプリテンショナー用 マイクロガスジェネレータ

車両衝突時にシートベルトが自動的に数センチほど引き込まれる機能があるのをご存 知ですか?

このシートベルトプリテンショナーという装置にはマイクロガスジェネレータと呼ばれる 小型ガス発生装置が組み込まれています。緊急時にガスの圧力でシートベルトを巻き取 り、搭乗者の体を確実かつ安全に拘束します。



●スクイブ

スクイブとはインフレータやマイクロガスジェネレータの中に組み込まれている小さな点 火装置。車両衝突時に衝撃センサーからの電気信号を受け取って安全装置を作動させる 重要な役割を担っています。長期間に亘って苛酷な環境下に置かれても、緊急時には確 実に作動する高い信頼性が求められます。



■ポラテクノ事業

ポラテクノ事業では、独自色素の強みを活かしたヘッドアップディスプレイや液晶ディスプレイ、サングラスなどに使われる偏光フィルムと、超微細加工技術の強みを活かしたX線分析装置用の部材や検査装置用などに使われる無機偏光板を製造、販売しています。

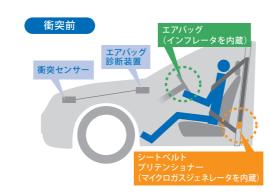




染料系偏光フィルム



X-ray Sources





- 1 衝撃をフロント部に組み込まれた 「衝突センサー」によって感知
- 2 「診断装置」が事故による衝撃か否かを判断
- 3 事故と判断された場合、電気信号がスクイブに伝達
- 4 電気信号からスクイブの点火薬に着火
- 5 ガス発生剤に着火しガスが発生
- 6 「エアバッグ」が膨らむと共に「シートベルトプリテンショナー」が シートベルトを巻き取り、搭乗者の受けた衝撃を吸収

※1. ~6. まで0.05秒程度

産業用ドローン向けパラシュート安全装置「PARASAFE®」

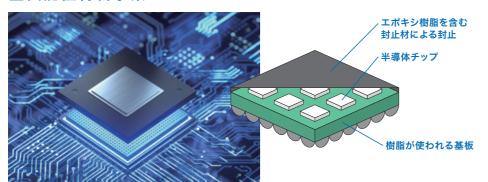
自動車安全部品で培った火工品技術を応用し、ドローン用パラシュート装置「PARASAFE®」を開発しました。ドローンが不測の事態で落下した際に、素早くパラシュートを展開し、地上の安全を守るとともに、ドローンの機体やカメラなどの搭載物の破損を防ぎます。ドローンの機体、搭載物、人命、地上の設備を守り、社会におけるドローンのさらなる活躍に貢献します。



ファインケミカルズ事業領域

機能性材料事業、色素材料事業および触媒事業を展開しています。 技術を活かした価値ある製品を提供し、 豊かな暮らしと持続可能な社会に貢献してまいります。

■機能性材料事業



日本化薬では、半導体封止材やパッケージ基板用の絶縁材料である エポキシ樹脂、カラーレジスト・ソルダーマスク・ハードコートをはじ めとして広範囲の分野で使用される紫外線硬化型樹脂、次世代移動 通信システム「5G」用基板に使用される高耐熱および信号損失を低 減するマレイミド樹脂など、さまざまな機能を持つ材料を手がけてい ます。

また、独自に設計した樹脂材料に組成化技術を応用した液晶シール剤、各種センサー用厚膜レジストおよびMEMS(微小電気機械システム)等の樹脂組成物や半導体の製造工程で使用される洗浄剤・薬液(現像液・剥離剤)といった多彩で高付加価値な製品を幅広い領域で創造しています。

さらには、材料を貼り合わせるラミネーター、剥がすためのリムーバーおよびウェハーを支持体にテープと貼り合わせるマウンターといった半導体製造工程で使用する装置をラインアップに加え、樹脂製品だけでなく装置においても市場へ価値を提供してまいります。



エポキシ樹脂



■色素材料事業

日本化薬は、染料の可能性を追求し、国内最大の染料メーカーとして業界を常にリードしてきました。その時代の顧客ニーズに応え、鮮明性、堅牢性、ハンドリング性などで特徴のある独自色材を開発し、繊維、紙パルプ、樹脂着色、インクジェットプリンタなどの市場へ幅広い製品を提供しています。

また、長年の色素材料で培った合成技術、分散技術、各種印刷& 光学評価技術等を活かし、顕色剤、オーバーコート剤等の感熱 記録材料、顔料誘導体(シナジスト)、二色性色素、赤外線吸収 剤等の各種機能性色素材料などさまざまな分野で社会に貢献 できる特徴のある材料を創造しています。



産業用インクジェットインク (雑誌・ラベル・包装資材等)



インクジェット用色素



捺染インクジェット用染料 (スカーフ等)

■触媒事業



水族館の水槽



触媒とは、日常生活で目にする最終製品などの原料をつくるために使われている重要な物質です。触媒の品質が製造コストを左右し、ひいては最終製品の価格などに大きく影響します。日本化薬では、アクリル酸・メタクリル酸(直酸法)を製造するための触媒の開発・製造・販売を行い、顧客から高い評価を得ています。

アクリル酸は、紙おむつなどに使われるSAP(高吸水性樹脂)、自動車用などのアクリル塗料や接着剤、水処理用高分子凝集剤などの原料として使用されます。

メタクリル酸は、フラットパネルディスプレイ用導光板などの光学関連用途、水 族館の巨大水槽で使用される透明樹脂や自動車用部品、人工大理石などに使 用されています。

また、次世代クリーンエネルギー分野に向けた触媒の開発を進めています。これまで培ってきた技術を活かし、地球環境にやさしいエネルギーに貢献できるよう挑戦しています。

ライフサイエンス事業領域

医薬事業およびアグロ事業を展開しています。

優れた医薬品等の開発により新たな治療の機会を提供するとともに、

医薬品を安定供給し人々の健康に寄与してまいります。

また、環境にやさしい優れたアグロケミカルを提供し、

持続可能な農業の発展に貢献してまいります。

■医薬事業

医療用医薬品(国内)-

日本化薬のがん治療への取り組みはブレオ®の発売以来、数多くの製品を提供しています。豊富ながん関連製品ラインアップやその情報の集積、ノウハウは当社の強みです。全国にがん専門MRを配置するとともに、医薬品情報センターを設置し、医療関係者などからのお問い合わせに対応し、医療の一翼を担うべく、適正使用情報を医療現場にお届けできる体制を整えております。



バイオシミラー(バイオ後続品:BS)* -

日本化薬は、がん治療や自己免疫疾患治療の主要な役割を果たしているバイオシミラーの開発を進めています。2013年に日本化薬初のバイオシミラー「フィルグラスチムBS」を、2014年に日本初の抗体バイオシミラー「インフリキシマブBS」、2018年に「トラスツズマブBS」、2022年に「ベバシズマブBS」、2023年に「アダリムマブBS」を上市しました。

※バイオシミラー(バイオ後続品:BS)・バイオシミラー(バイオ後続品:BS)とは、「国内で 既に新有効成分含有医薬品として承認されたバイオテクノロジー応用医薬品(先行バ イオ医薬品)と同等/同質の品質、安全性及び有効性を有する医薬品として、異なる製 造販売業者により開発される医薬品」のことをさします。



アグロ事業

農業用薬剤 ——

製薬技術やノウハウを集積し、時代のニーズに合わせた農薬を提供しています。

殺虫剤「ファインセーブフロアブル」

殺虫剤分類34に唯一属する「フロメトキン」を有効成分とし、防除が困難な作物害虫アザミウマ類などに高い効果を発揮します。

気門封鎖剤(殺虫剤・殺ダニ剤)・殺菌剤・展着剤「フーモン」

化学農薬のみにたよらない総合的病害虫管理に適した農薬としてフーモンを提供しています。殺虫効果のみならず、殺菌剤、展着剤の性能もプラスしています。

殺虫剤「ダイアジノン粒剤5」

1969年9月に農薬登録を取得以降、農業用から家庭園芸用まで幅広く日本全国の畑で使用されてきたロングセラー製品です。60種類以上の作物に使うことができ、コガネムシ類の幼虫やネキリムシ類といった厄介な土壌害虫に速効的に高い効果を発揮します。

お客様の声に応えて家庭園芸用400g規格を2025年4月より提供を開始しました。

他にも、ハウスなどの施設で処理が簡便で安定した効果が得られる土壌くん蒸剤「クロピクフロー」や「拡がる」と「くっつく」の2つの機能を両立させた新しいタイプの展着剤「ワイドコート」等、工夫を重ねた製剤を開発してきました。







その他薬剤 ——

動物忌避剤「R-731」

トウガラシの辛味成分であるカプサイシンノイド類の1種「ノニバミド」をマイクロカプセルに包んだ動物用忌避剤です。ケーブルなどに練りこみ、ネズミがかじってしまう被害を防止します。





原薬および輸出事業 -

原薬事業として発酵技術と抗がん薬で培った高薬理活性物質の製造技術を活用し、医薬品の原薬、中間体の受託製造を行っています。また、輸出事業としてブレオマイシンをはじめとする抗がん薬を欧州、アジア他世界各国に輸出しております。



診断薬 —

臨床医療における診断や検査には不可欠な診断薬(体外診断用医薬品)を提供しています。日本化薬オリジナルの診断薬の開発や新しい測定方法を開発し、主にがんや糖尿病関連の製品を製造・販売しています。また国内だけではなく、米国FDA(食品医薬品局)の承認を取得し、米国を中心に海外展開しております。



09 NIPPON KAYAKU BUSINESS STYLE 10



多様な技術の蓄積が、今の事業をささえています。

日本化薬は、研究開発方針のありたい姿として「研究開発により新事業・新製品を創出し企業価値を向上させる」を掲げております。

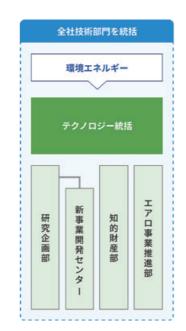
これまで培ってきた技術に加えて、様々な技術を積極的に導入することで、基盤技術を深化させながら様々な製品を社会に提供してきました。また、知的財産を継続的に創造・活用することにより、基盤技術の拡大と共に知的資産を増強しながら事業を拡大してまいりました。

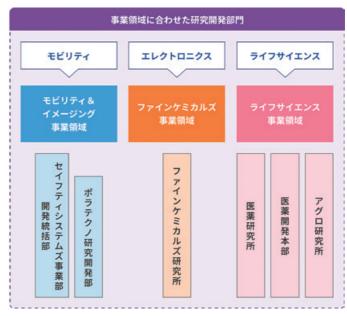
今後も、オープンイノベーションなどによる新しい技術の導入や研究DXを積極的に利活用しながら、基盤技術をさらに強化・拡大させ、今後、大きな成長が期待できるターゲット4分野(モビリティ、環境エネルギー、エレクトロニクス、ライフサイエンス)において新事業・新製品を創出し、社会に貢献していきます。



技術・研究開発部門間の連携で"すきま発想"を拡げます。

日本化薬の研究開発体制は、新規事業開発や変化の激しい技術革新へ対応するために、全社技術部門を統括する「テクノロジー統括」を設けております。また、事業部門においては、将来の成長が期待できる研究開発ターゲット分野に合わせた研究開発体制としております。技術部門・研究開発部門と連携しながら新製品・新事業創出、新技術導入、事業化支援などを行う体制になっています。





○開発統括部(セイフティシステムズ事業)

エアバッグを瞬時に膨らませるインフレータや、シートベルトを瞬時に巻き取るマイクロガスジェネレータなど自動車安全部品の開発を手がけています。



○ファインケミカルズ研究所

樹脂・色素・触媒技術をコアに更に進化させ、情報・通信、デジタル印刷、省エネ・省 資源、センシングの分野へニーズに合った 特徴ある新製品の開発を担っています。



○医薬研究所

低分子創薬からバイオ技術・高分子合成 技術を用いた新規抗がん薬、バイオシミ ラー、ジェネリック医薬品および体外診断 用医薬品の研究開発を進めています。



○アグロ研究所

豊かで、安全で、安心できる食品の提供 に貢献するために、環境に優しい化学農 薬や新規機能性農薬製剤の研究開発を 行っています。

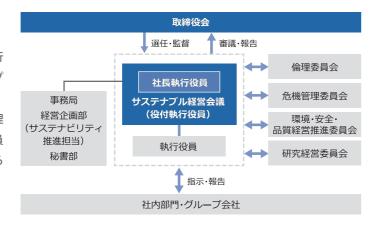


サステナビリティ推進活動 🏌

日本化薬グループは企業ビジョン KAYAKU spirit のもと、 すべてのステークホルダーの信頼に応えるサステナブル経営を推進し、 持続可能な社会の実現に貢献します。

サステナビリティ推進体制

日本化薬グループは取締役会の直接監督の下、社長執行役員を議長とするサステナブル経営会議を設置し、グループ全体でサステナビリティの取り組みを推進しています。サステナブル経営会議の傘下には、倫理委員会、危機管理委員会、環境・安全・品質経営推進委員会、研究経営委員会の4委員会を設置し、定例および必要に応じて開催することにより経営の透明性・公正性を確保しています。



SDGs & KAYAKU spirit

SDGsの考え方は、「最良の製品を不断の進歩と良心の結合により社会に提供し続けること」という、日本化薬グループの企業ビジョンKAYAKU spiritの考え方と同義であり、KAYAKU spiritの実現のための企業活動は、国連の目標とは規模やターゲットが異なるもののSDGsの実現と合致すると考えています。

当社グループのサステナビリティ・アクションプランでは、SDG Compassを活用し、各重要課題とSDGs17目標の紐付けを実施しました。環境・社会的価値と経済的価値を創造し、持続可能な社会の実現と企業価値向上を目指すとともに、SDGsの達成にも貢献していきます。

SUSTAINABLE GALS



国連グローバル・コンパクトへの参加

日本化薬グループは、国連グローバル・コンパクト(以下、UNGC)への参加を表明しました。UNGCでは「人権の保護」「不当な労働の排除」「環境への対応」「腐敗の防止」の4分野10原則を各企業が日々の業務や戦略に組み込むことで、積極的かつ能動的にサステナビリティ推進活動に取り組む

ことを求めています。当社グループはUNGC10原則を支持し、社会課題の解決に取り組むことで、健全なグローバル化と持続可能な社会の実現に貢献します。



品質と顧客の安全

日本化薬グループはレスポンシブル・ケア精神のもと、環境保全、安全衛生の確保および品質保証の維持向上のため、「環境・健康・安全と品質に関する宣言」を制定しています。製品の安全性・信頼性に配慮し、技術サービスや情報提供がお客様の満足度向上につながるように活動しています。

気候変動対策

日本化薬グループは、2022年4月に「気候関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures、以下TCFD*)」提言への賛同を表明しました。それ以降、TCFD提言に基づき、気候変動にかかわるリスクと機会およびその財務的影響、温室効果ガス排出量の削減や循環型社会の構築に向けた取り組みについて開示しています。

*TCFD:2015年に金融システムの安定化を目的に、金融安定理事会(FSB) によって設立されたタスクフォースで、企業の気候変動に関するリスクと機会に関する情報開示を推奨しています。



雇用の維持・拡大と人材育成、人権尊重

● ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進 日本化薬グループは、従業員一人ひとりが「仕事のやりがい や充実感を感じながら活き活きと働くことのできる会社」の 実現に向けて、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョ ンを推進しています。

多様な個性や価値観をもった人材が、互いの違いを認め合いながら、個性・能力を最大限に発揮できる環境の整備や 風土の醸成により「社会から信頼される会社」「強い会社・ いい会社」を目指します

● 日本化薬グループ人権方針の制定

日本化薬グループは、国連「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づく、「日本化薬グループ人権方針」を制定しました。本方針の制定により、今後、人権デュー・ディリジェンスの仕組みを構築し、当社グループが事業活動を通じて人権侵害に関与することがないよう、リスクを特定した上で未然防止および影響の軽減を図ります。また、ステークホルダーとの対話と協議を真摯に行い、実効的な苦情処理メカニズムの構築、適切な情報開示を進めるほか、継続的な人権教育等を通して、人権尊重の企業風土を醸成します。

サプライチェーンにおける環境・社会配慮

日本化薬グループは、持続可能な社会を実現するために「日本化薬グループ行動憲章・行動基準」「購買理念」「購買基本方針」に基づき「サステナブル調達ガイドライン」を定め、お取引先に周知しています。

研究・開発から原材料の調達、製造、販売、物流までのサプライチェーンすべてのビジネスパートナーのみなさまと一緒に 人権尊重をはじめ環境保全、労働安全衛生、法令遵守、公正 取引などに配慮したサステナブル調達を推進しています。

社会貢献活動

● 難病とたたかう子どもと家族の滞在施設「あすなろの家」 「あすなろの家」は、小児がんをはじめとする難病の治療を 受けるなど、専門の医療機関に入院・通院しているお子さん と付き添われるご家族の方に安心して我が家のようにご滞 在いただけることを目指している施設です。

利用されるご家族のプライバシーを守りつつ、そのご家族同士の交流を図ることができるように、またご家族にとって精神的・経済的なご負担の軽減にお役にたてる施設となるように努めています。



● 地域とのコミュニケーション

日本化薬グループは、事業場のある地域社会とともに発展を 続けるために「地域コミュニティ」とのコミュニケーションを 積極的に行い、地域に根差した企業グループとして、共存・ 共栄を図ります。



ボランティア活動

かやく、ささえる。

日本化薬は長い歴史を持つ化学品メーカーです。1916年、日本最初の産業用火薬を製造する 株式会社としてスタートして以来、数々の技術を生み出し、多彩な製品を世に送り出してきました。 私たちが生み出してきた技術は、今もさまざまに姿形を変えながら、人々の暮らしの中で、便利や 快適、安心や安全をしっかりとささえています。その根底にあるのは"人を幸せにする製品で社会に 役立とう"という想い。これからも私たちはこの想いを胸に歩み続けていきます。

1931 1943 1945 1949 1956 1963 1969 1970 1971 1985 1992 1992 1995 1996 1998





世界に広がる 日本化薬グループ

会社概要

会 社 名 ● 日本化薬株式会社

代 表 者 ● 代表取締役社長 川村 茂之

設 立 年 月 日 ● 1916年(大正5年)6月5日

資 本 金 ● 14,932百万円

本 社 所 在 地 ● 〒100-0005

東京都千代田区丸の内2丁目1番1号 明治安田生命ビル19、20階

ホームページ • https://www.nipponkayaku.co.jp/





■カヤク アドバンスト マテリアルズ, Inc.

■ニッポンカヤクアメリカ, INC.



■モクステック,Inc. -

■エアロシステムズウェスト,Inc.

■テイコクテーピングシステム,Inc.

■カヤク セイフティシステムズ デ メキシコ,S.A. de C.V.

す き ま か ら 世 界 へ 、そ し て 次 の 未 来 へ ── 生産拠点一覧

モビリティ&イメージング事業領域



セイフティ本社工場



カヤク セイフティシステムズ マレーシア Sdn.Bhd.



デジマ オプティカル フィルムズ B.V.



東京工場



無錫先進化薬化工有限公司



カヤク セイフティシステムズ ヨーロッパ a.s.



上越工場



レイスペックLtd.



化薬化工(無錫)有限公司



高崎工場



化薬(湖州)安全器材有限公司



モクステック, Inc.



福山工場



カヤク アドバンスト マテリアルズ, Inc.



日本化薬フードテクノ(株)



カヤク セイフティシステムズ デ メキシコ,S.A. de C.V.



無錫宝来光学科技有限公司



厚狭工場

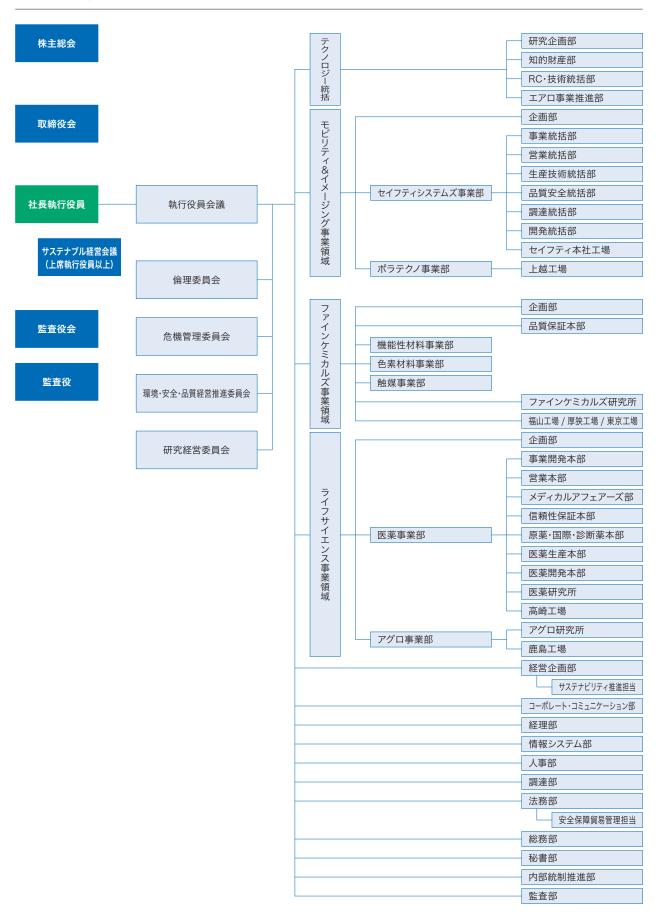


テイコクテーピングシステム(株)



鹿島工場

業務組織図(2025年4月1日現在)





世界的は思える。

"世界的すきま発想。"とは日本化薬グループのコーポレート・スローガン。すきまとは、まだ誰も知らない価値の眠る場所を指します。私たち日本化薬は規模に頼るのではなく、独自技術で世界に必要とされる高付加価値な製品を提供し、ニッチ市場のグローバルNo.1を目指します。



すきまから世界へ、未来へ。

私たちの技術は、華やかにスポットライトを 浴びるものではないかもしれません。 でも、今の人々の暮らしやさまざまな産業を しっかりとささえ、未来につなげていきます。 今後もすきまから世の中をささえる技術を創りだし、 世界に、未来に貢献していきます。

今後の日本化薬グループに、どうぞご期待ください。

「世界的すきま発想。」から生まれた







